

平成 30 年度第3回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者	馬場 真の輔
-----	--------

日時	平成 31 年1月 28 日(月)	時間	午後2時00分～午後3時00分
場所	始良市役所本庁 2階大会議室		
出席者	<p>委員 湯元委員、國村委員【代理出席】、鐘ヶ江委員、原田委員【代理出席】、堀之内委員、西森委員【代理出席】、竹下委員【代理出席】、上川委員、西委員、佐藤委員【代理出席】、福永委員、中原委員、山口委員、岡委員、鬼塚委員、徳永委員、竹田委員、徳永委員、野口委員、古市委員、若月委員、諏訪協委員、川原委員、柳鶴委員、宮田委員、松元委員、徳部委員、竹下委員</p> <p>事務局 地域政策課、社会福祉課、蒲生地域振興課、加治木地域振興課、(株)JT Bプランニングネットワーク</p>		
議長	会長 湯元 敏浩(始良市長)		
資料	会議資料1 別冊資料1		
傍聴者	なし		

会議内容

(会次第)

1 開会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 議事

【報告】

(1) ふるさとバス蒲生・春花線の利用状況及び低床バス導入状況について

(2)「始良市公共交通フェア 2019」の進捗状況について

(3)「始良市公共交通総合時刻表」の策定状況について

事務局より、資料1・資料2・資料3に沿って一括で報告した。

委員 導入する低床バスは座席が15名、立席が11名の計26名の定員となると報告があったが、コミュニティバスの利用者の多くは足腰の不自由な高齢者である。
満席になり、高齢者が立って乗車するようなケースに対して対応できるのか。

佐藤委員 現在のふるさとバスを運行している車両は立席がないものである。しかし、南国交通や鹿児島交通からご教示いただき、安全運転に勤めていきたいと考えている。

委員 現在、バス車内で起きる事故の7割は座席から立ちあがった際の転倒となっており、座席があるからといって必ずしも安全ではない。
運行事業者が安全運転に勤めるのは当然であるが、事務局がバスの利用について周知活動を行う際には、そのような注意点についても併せて説明してほしい。

事務局 今年末に作成する総合時刻表へもその旨記載し、利用者の注意を促していく。

委員 福祉運送の周知・PRとして、公共交通フェアに福祉車両を展示してはどうか。

事務局 検討する。
⇒了承。

【協議事項】

(1) 大山地区及び久末地区高牧集落の予約型乗合タクシー試験運行結果及び本格運行について
事務局が資料4・資料5に沿って説明し、承認を求めた。

委員 大山地区の試験運行後アンケートで得られた利用者からの苦情等に対しては改善を行うのか。

事務局 事務局の周知不足により、新留地区ほど利用者から良い反応が得られなかった。今後は本格導入に向けて対応していきたい。
⇒承認。

(2) 竜門校区、永原校区、中野地区、上名地区における予約型乗合タクシーの試験運行について
事務局が資料6に沿って説明し、承認を求めた。

委員 試験運行事前アンケートで『予約型乗合タクシーを利用しない』と回答した方の理由を分析する必要があるのではないか。

事務局 自家用車や家族・知人等の送迎を主な移動手段として利用している方の多くが『予約型乗合タクシーを利用しない』と回答している。
⇒承認。

(3) 蒲生町大山地区乗合タクシーの廃止について

事務局が資料7に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認。

4 その他

事務局から「始良市公共交通フェア 2019」の周知等の協力を委員にお願い。

5 閉会